#### Page 1

#### SPECIFICATION

1. Title of the Invention: TONER REPLENISHING DEVICE

2. Scope of Claims

A toner replenishing device in which a toner replenishing container is fitted onto a toner replenishing portion of a developing apparatus to replenish the replenishing portion with a toner, the device being characterized by comprising: a flexible cylindrical member which is formed at an opening of a body of the toner replenishing container, an elastic member being wound around the cylindrical member to contract there to narrow the cylindrical member in order to prevent outflow of the developer; and an opener tube for toner replenishment, which is formed in the toner replenishing portion and capable of entering the cylindrical member against a contraction force of the elastic member.

Page 4

An object of the present invention is to provide a toner replenishing device which does not cause contamination by toner upon attaching and detaching of a toner replenishing container (i.e., toner cartridge) to and from a developing apparatus. Construction of the Invention

According to a toner replenishing apparatus of the invention, a flexible cylindrical member is disposed at an opening of a body of a toner replenishing container, and an elastic member is wound around the cylindrical member to contract there to narrow the cylindrical member, thereby sealing the opening. Meanwhile, a toner replenishing portion of a developing apparatus has an opener tube for toner replenishment which is capable of entering the cylindrical member against a contraction force of the elastic member. When the toner replenishing container (i.e., toner cartridge) is attached to the toner replenishing portion, the opener tube stretches or expands the elastic member to enter the cylindrical member, and the toner contained in the toner cartridge flows out into the developing apparatus via the opening, cylindrical member, and opener tube. When the work operation of replenishment is finished, the toner cartridge is pulled out of the toner replenishing portion, and the elastic member again contracts and narrows the cylindrical member to seal the opening.

Page 10

In the toner replenishing device according to the invention, the flexible cylindrical member is disposed at the opening of the body of the toner cartridge, and the elastic member contracts and narrows the cylindrical member to seal the opening, while the toner replenishing portion of the developing apparatus has the opener tube for toner replenishment capable of entering the cylindrical member against the contraction force of the elastic member. When a toner cartridge is attached to the toner replenishing portion, the opener tube opens the opening in such a manner that contamination of the apparatus with the toner is prevented, without requiring any special operation for opening the seal of the opening.

When the toner cartridge is removed from the toner replenishing portion, the elastic member again contracts to narrow the elastic cylindrical member, thereby sealing the opening. Therefore, contamination of the apparatus with the toner upon removal of the toner cartridge is prevented, while no special operations are required for re-sealing the opening.

4. Brief Description of the Drawings

Fig. 1 is an external view of a toner cartridge according to one embodiment of the invention; Fig. 2 is a cross-sectional view as taken along a line II – IIin Fig. 1; Fig. 3 is an external, partially cutaway view of a relevant part of a toner storage tank of a

developing apparatus; Fig. 4 is a cross-sectional view taken along a line IV - IV in Fig. 3; Figs. 5 and 6 are vertical cross-sectional views showing a state where the toner cartridge is attached to the toner storage tank; and Fig. 7 is a vertical cross-sectional view of a toner cartridge according to another embodiment of the invention.

- 1 toner cartridge
- 5 opening
- 10 through way
- 11 cylindrical member
- 12 rubber cord
- 20 toner storage tank
- 22 opener tube for toner replenishment

82651

⑲ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-82651

@Int Cl.4 G 03 G 15/08 識別記号

庁内整理番号

每公開 昭和60年(1985)6月7日

1 1 2

7265-2H

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 トナー補給装置

> ②実 昭58-174769 願

御田 昭58(1983)11月14日 砂考 案 階 治 者 髙 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工 場内 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工 ②考案 者 石 Ш 史 濟 場内 個考 案 者 柴 崎 茂 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工 分考 宏 者 笹 原 彬 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工 場内 位考 案 篠 敏 者 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工 場内 砂出 顧 人 富士ゼロツクス株式会 東京都港区赤坂3丁目3番5号

弁理士 江 原 邳代 理 人 望 外2名



#### 明 細 書

- 1.考案の名称 トナー補給装置
- 2. 実用新案登録請求の範囲

トナー補給容器を、現像器のトナー補給部に装 るしてトナーを補給するトナー補給軽において、 トナー補給容器 本体開口部に可携性簡状体を付設 し、該筒状体の外周を弾性部材で絞ることによつ て現像剤の流出を遮断するとともに、前記トナー 補給部には、前記弾性部材の絞り力に抗して前記 筒状体内に相対的に進入し得るトナー補給基置。 3 考案の薫細を説明

#### 産業上の利用分野

本考案は、電子写真複写機、節電記録装置等の 画像形成装置において、現像器にトナーを補給す るためのトナー補給装置に関するものである。

#### 従来技術

が電潜像を可視化する画像形成装置では、感光体、或るいは被帯電部材上に形成されたが電潜像に粉末状現像剤を供給してトナー像を形成した後、



そのトナー像を用紙等に転写し、次いで定着を行 う。

しかして、前記現像剤としては、色素 用のトナーとトナー担体としてのキャリャを 適当な比率で混合した二成分現像剤と、磁性トナーのみによる一成分現像剤とがある。

前者については、使用に伴つて現像剤中のトナー量が減少するため、トナー貯溜槽から現像剤中に、適宜トナーを供給してトナー 濃度を維持している。それ故、トナー貯溜槽中には、常に一定量以上のトナーを収納しておく必要があり、適当な時期にトナーを補給する。

一方、後者、即ち一成分現像剤については、トナー濃度の維持という問題はないが、機械の迎転によつて消耗したトナーを適宜補充しなければならない点は、二成分現像剤の場合と同じである。

そして、いずれの現像剤においても、トナーが ミクロン単位の微細粉末であるが故に、トナー貯 褶槽中にトナーを補給する際、空中への飛散、或 るいは漏出が生じ易く、それによつて機械の内、 外が汚染され、作業者の手、衣服が汚れる等の不都合があつた。

従来のトナー補給法としては、トナー補給容器からスプーンを使用して供給する、トナー補給容器を傾け、トナー補給容器を揺すりながら注ぎ込む等の方法が一般的であるが、トナー汚染が生じ易く、汚染を避けるために慎重な作業を行うと能率が低下する。

斯かる不都合を解消すべく、現像器のトナー補給のに直接装着して用いる種々のトナー 給路提(以下、トナー・カートリッジとが、カートリッシャナーを発展である。その別ととなるするとのとのようでは、シートナーが難になる。ないとに言えない。

また、実公昭52-24505号公報、特別昭55-

### 公開実用 昭和60─ 82651

90979 号公 報に記 載されたトナー・カートリッジ は、その開口部を貼着シートで密封するタイプで あるが、トナー貯溜槽(または、現像器本体)に トナー・カートリッジを装着した状態で、シート を剥がす様になされているため、装着時に、トナ 一による周囲の汚染は生じ難い。ところが、いず れの場合も、トナー貯溜槽からドナー・カートリ ッジを取外す際、開口が開いたままであるため、 カートリッジ本体の内壁に付着、残留しているト ナーが機械の内、外にこぼれ落ち、トナー汚染が 生ずる恐れがあり、収扱いにも慎重を要す。

さらに、前記 実公昭52 - 24505 号公報に示され たトナー・カートリッジでは、トナー貯溜槽に装 滑 した後、貼着シートを手で引つ張りつつ剝がさ なければならず、操作が面倒である。

#### 考案の目的

本考案は、斯かる事情の下に案出されたもので あつて、その目的とする処は、トナー補給容器( トナー・カートリッジ)を現像器に対して濁脱す る際、トナー汚染が生ずることのないトナー補給



装置を提供する点にある。

#### 考案の構成

#### 实施 例

以下、 本考案の一実施例を第 1 図乃至第 6 図 に 則して説明する。

トナーTを収納するトナー・カートリッジ 1 は、



頂部が閉じ、漏斗状の底壁3を有する円筒部2と、 該円筒部2の周壁から伸長する三本の脚柱6と、 各脚柱 6 の先端部を環状に連結する環状部材 7 と、 該環状部材7の半径方向で各脚柱6の先端部を相 互に連結するスポーク(spoke)状部材 8 と、 漏斗状底壁3の下端に伸長し、開口5を画成する 短尺管状壁 4 と、環状部材 7 の中心部 (即ち、各 スポーク状部材 8 の相互連結部) に付されるとと もに、上下方向の貫通穴10を画成する短尺管状部 9とを主体部としている。そして、樹脂、ゴム等 で形成され、かつ原形が円筒状を成す可撓性薄肉 筒状体11の両端部が、管状壁4および管状部9の 外周に気密に接着されており、さらに筒状体11は、 その中間部においてコム紐12で絞られ、開口5を 通じたトナーの流出が遮断されている(以上、第 1 図、第2図参照。但し、第2図は第1図におけ るⅡ→Ⅱ線断面凶である)。

一方、現像器のトナー貯溜槽20の上部は、その 内径がトナー・カートリッジ1の外径 (円筒部2 および環状部材7の外径)と略ぽ一致して、トナ



・カートリッジ1を嵌挿させ得る円筒体として 形成されており、該円筒体の開放端から所定深さ 位置に、内部を遮断してトナー・カートリッジ用 支持壁21が付設され、該支持壁21の中央部上面に、 上、下空間を連通するトナー補給用開封筒22が立 設されている。このトナー補給用開封筒、22の上端 部には、四本の枠状部材23が合掌状に一体に付設 されている。そして、トナー組給用開封筒22の高 さは、トナー・カートリッジ1の管状部9を下方 から貫通して円筒部2の内室にまで達し得る程度 になされている(第3凶、第4凶参照。但し、第 4 図は第3図におけるIV - IV 線断面図である)。 本実施例は、前記の様に構成されており、現像 器のトナー貯溜槽20にトナー補給を行うには、第 1 図図示の如く、トナー・カートリッシ1 の脚柱 6を下に向けた姿勢でトナー貯溜槽20の上端開放 部から差し込み、トナー補給用開封筒22に対して、 管状部 9 の貨遊穴 10 を合致させてさらに押し下げ る(第5図参照)。

この押し下げ操作によつて、先端部が尖つた形

### 公開実用 昭和60─ 82651



状のトナー補給用闘封筒22が筒状体11内に相対的 に進入し、ゴム紐12の絞り力に抗して筒状体11が 押し拡げられ、トナー補給用開封筒22は、管状壁 4の閉口を抜けて、円筒部2の内室にまで達する。 トナー貯溜槽20に対するトナー・カートリッジ1 の挿入量は、支持壁21で規定される。この間、ト ナー補給用開封筒22が、絞られた状態にあつた筒 状体11を押し拡げた時点から、褒数の粋状部材23 の間を経て、円筒部2内のトナーTが、トナー補 **給用開封簡22内に流れ込み、下方のトナー貯溜槽** 内に流落する(第6凶参照)。

トナー・カートリッジ1は、そのままトナー貯 **溜槽20に装着して置き、次のトナー補給時に引き** 出すか、或るいは、トナーが完全に排出された後 に引き出す。

しかして、トナー・カートリッジ1の取外しに 当つ て、トナー 貯 溜 槽 20 から 該ト ナー・カートリ ッジ1を持ち上げると、筒状体11から相対的にト ナー補給用開封筒23が引き出され、筒状体11は、 コム紐 12 によつて再び絞られる。 斯くて、 閉口 5



が再密封された状態で、トナー・カートリッジ 1 を取り出すことができる。

前記の様に本実施例では、筒状体11をゴム紅12で絞ることによつて開口5を密封したまま、トナー貯溜槽20に対してトナー・カートリンジ1を装滑することができ、しかもその装滑操作によつて、トナー補給用開封筒22が筒状体11内に進入し、開口5が開封されるので、トナー汚染が生ずる心配はなく、開封のための操作を別途行う必要もない。

また、トナー貯溜槽20からトナー・カートリッシ1を取り出す際には、トナー補給用開封筒22が筒状体11から相対的に引き出されると同時に、ゴム紐12によつて筒状体11が絞られ、開口5が再密封されるので、円筒配2の内壁に付着、残留していたトナーがこぼれ落ちることはなく、再密封のための操作を別途行う必要もない。

次に、第7凶に示したトナー・カートリッジ30について説明する。

即ち、トナー・カートリッジ30 は、その下部の構造が、トナー・カートリッジ1 のそれと異なっ

## 公開実用 昭和60— 82651



ており、トナーエを収納する円筒部31の外間壁が、スカート状に下方へ伸長して脚筒32になされ、漏斗状の底壁33における管状壁34の外周に、樹脂、ゴム等で形成された可撓性薄肉筒状体36の上端部が接着されるとともに、該筒状体36の下端部が拡開され、反転状に脚筒32の外間に接着され、かつ筒状体36は、ゴム紐37によつて絞られ、以つて開口35が密封されている。このトナー・カートリッジ30も、前記トナー・カートリッジ1と同様に、トナー貯溜槽20に対して着脱することができ、同様な作用効果が得られる。

#### 考案の効果

以上、契施例の説明から明らかな様に、本考祭のトナー補給装置では、トナー・カートリッジ不体の閉口部に可撓性筒状体を付設し、該筒状体を弾性部材で絞ることによつて開口を密封し、現像器のトナー補給部には、弾性部材の絞り力に抗りてているトナー補給部に入し得るトナー補給のに進入し得るトナー補給用間封筒を設けたので、トナー補給部に対してトリッジを装着すると、トナー補給用開封



によつて開口が開封され、トナー汚染を防止し得るとともに、開封のための特別な操作を行う必要がない。

また、トナー補給部からトナー・カートリッジを取り出すと、弾性部材によつて可撓性筒状体が絞られ、開口が密封される。故に、取り外し時のトナー汚染を防止し得るとともに、再密封のための特別を操作も不要である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例に係るトナー・カートリッジの外観図、第2図は第1図におけるIIーII線断面図、第3図は現像器のトナー貯溜槽の一部切欠き変配外観図、第4図は第3図におけるIVーIV線断面図、第5図、第6図はトナー貯溜槽に対するトナー・カートリッジの装着感様を示す総断面図、第7図は他の実施例に係るトナー・カートリッジの縦断面図である。

1 … トナー・カートリッジ、

5 … 崩 口、

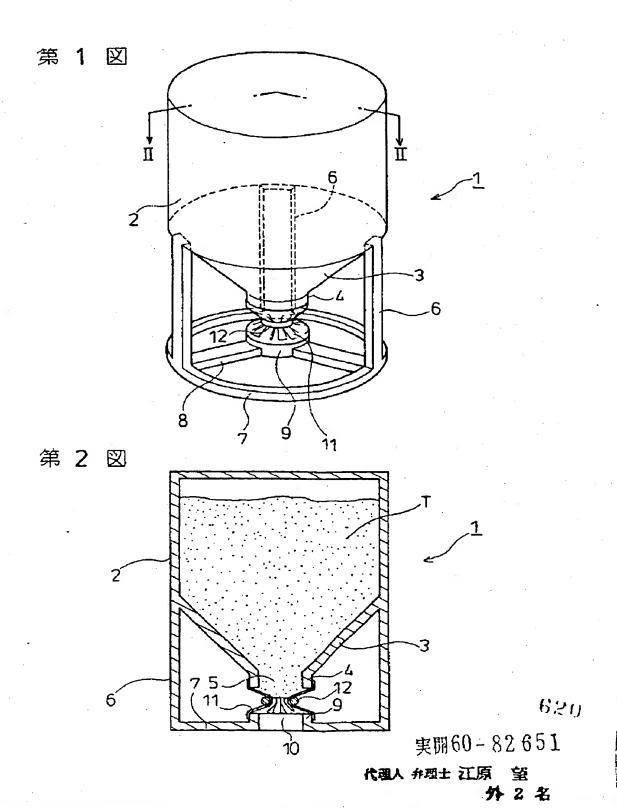
10 … 貫通穴、11 … 筒状体、12 … コム紐、



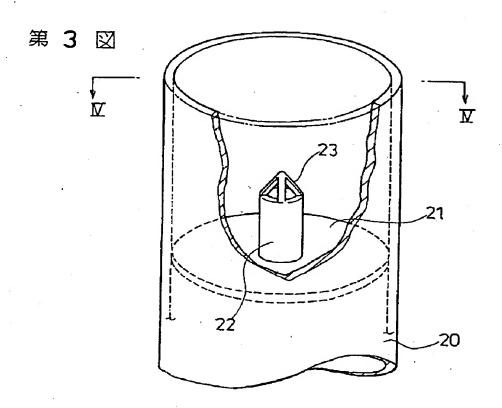
20 … トナー貯溜槽、

22 … トナー補給用開封筒。

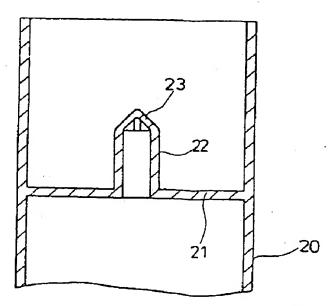
代理人 弁理士 江 原 望 外 2 名



## 公開実用 昭和60— B2651

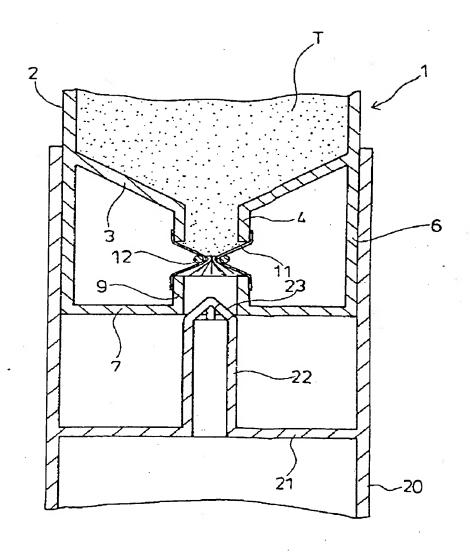


第4図



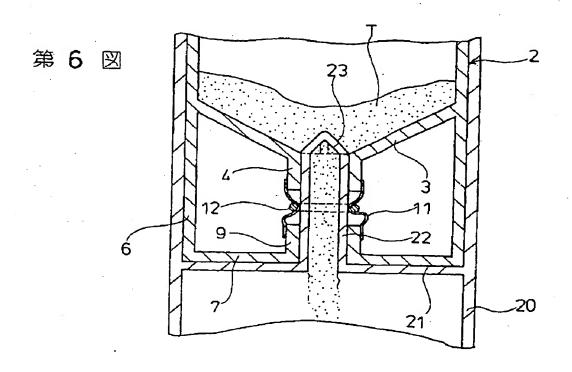
621

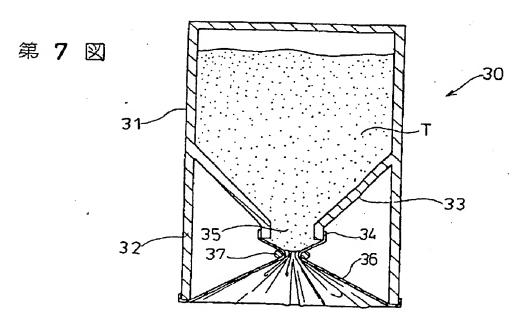
**代理人 #理士 江原** 望 実開 60 - 82 65 **外** 2 名



622

大理人 并理士 江原 望 实现 60 - 8 26 8 32名





実限60-82651 · **八理人 弁理士 江原 童** 外 2 名

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

#### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
·

#### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.